

電気工学専攻

人材養成および教育研究上の目的

電気工学専攻においては、開発・研究に携わる人材を育成すると同時に、電気工学を核に幅広い工学分野に対処できるジェネラリストを育成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

電気工学専攻では、将来開発、研究に携わる人を対象とすると同時に、より多方面の技術に対処できる、いわゆるジェネラリストを育成する教育を行う。したがって、入学は、基礎学力と勉学の意欲を筆記試験および面接試験で判定する。なお、学部の成績優秀者には推薦入試制度、特に優秀な学生には飛び級入試制度が利用できるようにしており、推薦入試制度は面接試験で可否の判定を行う。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

アドミッション・ポリシーで述べた通り、ジェネラリストを育成するために、研究を推進する4専修部門の科目の他に多数の非専修科目を設けている。また、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力の涵養に必要な少人数による集中教育、教師との密な接触による全人的教育を目指す。

❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

工学における開発、研究を行う者として、基礎知識、専門技術を有しているかどうかを修士論文および単位取得状況から判断し、合格者に学位を授与する。なお、修士論文は必ず発表会を行うこととする。

